



2021年12月15日

各 位

会 社 名 パーク24株式会社
代表者名 代表取締役社長 西川 光一
(コード：4666、東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員経営企画本部長
佐々木 賢一
(TEL：03-6747-8120)

パーク24グループのマテリアリティ（重要課題）の特定および サステナビリティに関する中長期目標の設定に関するお知らせ

当社は、本日2021年12月15日開催の取締役会において、当社グループの持続可能な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、マテリアリティ（重要課題）を特定すると同時にサステナビリティに関する中長期目標を設定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. マテリアリティ特定の背景

当社グループは、グループ理念「時代に応える、時代を先取る快適さを実現する。」のもと、モビリティ・交通インフラサービス企業として、駐車場事業およびモビリティ事業の成長を通じて社会課題を解決してまいりました。

今後、持続可能な地球環境や社会を実現するにあたり、当社グループが果たすべき役割は益々大きくなっていくと考えております。そのため、事業戦略に加えて環境課題や社会課題を解決する視点を当社グループの経営方針に取り入れ、持続可能な企業成長および企業価値の向上を目指すために、パーク24グループのマテリアリティを特定しました。

2. マテリアリティ特定のプロセス

- (1) 国連グローバルコンパクト、社会課題が網羅されているSDGsの17の目標やESG評価機関の評価項目などを参照し、社会的な要請を抽出
- (2) 抽出された社会課題を元にサステナビリティ委員会にて検討、議論し、マテリアリティを特定
- (3) サステナビリティ委員会で特定されたマテリアリティを取締役会で議論、承認

3. パーク24グループの5つのマテリアリティ

- (1) 持続可能な地球環境への貢献
- (2) 安全なモビリティ・交通インフラサービスの提供
- (3) 快適な社会を実現するイノベーション
- (4) 企業成長に必要な多様な人材の活躍推進
- (5) 強固な経営基盤の確立

4. サステナビリティに関する中長期目標

5つのマテリアリティのうち、サステナビリティにより関係する指標をサステナビリティ委員会で検討、議論を重ね、取締役会で承認されたものは以下のとおりとなります。

マテリアリティ	テーマ	2030年の中長期目標または方針
持続可能な地球環境への貢献	環境負荷低減への貢献	① モビリティサービス車両・自社利用車両（営業車・管理メンテナンス車）は国内新規登録車両のEV率と同等もしくは上回る新規導入車両EV率を目指す ② （当面）モビリティサービス新規導入車両はHV・EV比率を前年より高める ③ モビリティ車両の1km走行距離当たりCO2排出量前年比3%削減 ④ 新規開発タイムズパーキングにEV充電器設置（2025年以降） ⑤ 自社保有物件（駐車場・オフィス）電力を再生可能エネルギー調達へ転換
	資源の有効利用	⑥ 駐車場関連設備のリユース推進 ⑦ フラップレス等軽装備駐車場の開発を検討・促進
企業成長に必要な多様な人材の活躍推進	多様な人材の活躍推進と人材育成	① 多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を積極的に提供する ・ ジェンダー・年齢・人種・国籍・障がいの有無・宗教・信条・中途新卒・雇用形態等に関係なく、個人が生き生きと働くことができる制度・支援策を導入し、環境を整備する ・ 能力・実績を重視する人材登用を実施 ② 多様性指標（性別・中途新卒・障がいの有無等）の最適化を図る ③ 育休取得率100%
	従業員の健康増進	2024年までに ① 精密検査受診率 75%以上 ② 国内社員喫煙率 20%以下 ③ 女性社員の女性特有がん検診受診率 60%以上 ④ 健康教育受講率 100% ⑤ 安全衛生関連イベント延べ参加者数 5,000人超 以上の取り組みにより、健康指標の達成の結果として健康経営優良法人・ホワイト500の認定を目指す
強固な経営基盤の確立	持続可能なサプライチェーンの構築	グループ全体のサプライチェーンのリスク把握と健全化
	コーポレート・ガバナンスの充実/コンプライアンスの遵守	コーポレート・ガバナンスの最適化

※ 上記目標値については、国内グループ企業を対象とする

以上